

校内研修 4つの取組の 5点セット

学級経営 5点セット

目指す子ども像	目的意識を持ち、人や物事と豊かに関わり、磨き高め合う子どもの育成
テーマ	豊かなコミュニケーション活動の土台を育む人間関係の醸成
達成指標	自己・他者肯定感の向上
取組内容	フリートーク、褒め言葉のシャワー、成長ノート、価値語のブラッシュアップ
取組指標	①年2回（前期・後期）研修に位置づけ、取組の状況や成果・課題について全体で共通理解及び改善を行う ②指導教諭等による「学級経営観察シート」にて、取組の状況を把握及び改善を行う
検証指標	①「自己・他者肯定感テスト」において、「自己・他者肯定群」に位置する児童が全体の82%以上 ②指導教諭等を中心とした「学級経営観察シート」の平均が3.0以上
外部評価	学校評議員や指導主事等を年間2回程度招聘し、状況の確認及び評価をいただく

外国語活動 5点セット

目指す子ども像	目的意識を持ち、人や物事と豊かに関わり、磨き高め合う子どもの育成
テーマ	積極的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする児童を育む授業の推進
達成指標	①日本語を交わせる状況においても、英語や非言語手段だけを使ってコミュニケーションを続けようとする児童 ②公立校の教師が活用できる授業展開
取組内容	○日常的に子どもたちが Classroom English を活用しようとする授業 ○「4R」が展開される授業 ・「外国語・外国語活動指導のポイント」を意識した授業 ○新教材「Let's Try!」「We Can!」を使用した授業のブラッシュアップ ・（単元構想やテンポ等を踏まえて）学習者は主体的に学びに向かうものになっているか ・（間接的指導・C児への支援等）児童の実態を踏まえた効果的な手立てとなっているか ・Small Talk のあり方（教員の英語力向上）
取組指標	①校内研修の授業研において、各学年1学級以上外国語の授業を設定し、課題や改善方法などを明らかにしていく ②年間2回程度他校からの視察日を設定し、積極的に視察を受け入れる また、要請があれば、外部講師として出前授業を行う
検証指標	①指導教諭を中心に他者評価を加味した自己評価で（4段階）で、3.0以上 ②授業参観後のアンケートにより、自校での活用率が7割以上
外部評価	○外部アドバイザーや指導主事等を年間3回程度招聘し、進捗具合を確認及び評価していただく（指導主事招聘はカリマネや提案授業と連動する） ○11月23日の外国語セミナーにおいて、今年度も直山木綿子調査官を招聘し、本校の取組を評価していただく

総合的な学習の時間の5点セット

目指す子ども像	目的意識を持ち、人や物事と豊かに関わり、磨き高め合う子どもの育成
テーマ	学校教育目標の実現に向けて取り組む生活科と総合的な学習の時間
達成指標	附属小学校のめざす生活科・総合的な学習の時間の資質・能力の達成
取組内容	①学級ごとに探究のサイクルを意識した単元計画（プラン）の作成 ②学級ごとに他教科と関連する資質・能力表の作成 ③附属小学校のめざす生活科・総合的な学習の時間の資質・能力の見直し、外部への発信 ④提案授業の実施 ⑤「めざす資質・能力」の達成が見取れる児童アンケートの作成、検討、実施
取組指標	①②については、必要に応じて研修に位置づける。総合部・学年部で進捗具合のチェック，全体でその都度成果と課題の交流 ③については、生活・総合部会を持ち、修正していく。ホームページ等で発信を行う。月に1回，研修に位置づける 学年部で進捗具合のチェック ④については，研修に位置づけ全職員で参観する。 ⑤については，総合部を中心に作成し，全職員で検討する。
検証指標	前期：「めざす資質・能力」を意識した授業の実施（通知表の評価と連動） 児童アンケートの実施・分析 後期：「めざす資質・能力」を意識した児童アンケートで肯定的な回答8割以上
外部評価	年間3回程度指導主事等を招聘し進捗具合を見てもらう （指導主事招聘はカリマネや提案授業と連動していく）

カリマネ・研のテーマに関わる授業の5点セット

目指す子ども像	目的意識を持ち、人や物事と豊かに関わり、磨き高め合う子どもの育成
テーマ	学校教育目標の具現化に向け効果的なカリキュラム・マネジメントの在り方
達成指標	学校教育目標に迫る、効果的で可視化された教育課程の編集
取組内容	学校教育目標との関連が明確で、資質・能力の活用を中心とした教科横断的な天元及び授業プランの作成
取組指標	・昨年度作成した、重点を置くべき指導内容や資質・能力を中心に組織した単元配列法を活用し、実際に指導案（板書計画）に位置づけた授業を全学級担任が年間最低2回公開する ・授業公開後は全体で事後検討会（指定討論形式）を行い、学校教育目標の具現化等について検討をするとともに、指導教諭等による「授業観察シート」により今後に向けた授業改善を行う ・研の指導主事等と連携し、取組のあり方や、単元及び授業プラン、公開授業について指導を受けるとともに、取組の成果を整理し、県下に発信する
検証指標	・指導教諭を中心とした「授業観察シート」の平均が3.0以上 ・本講作成の単元及び授業プランが、研の指導主事等を通じて公開・発信
外部評価	学校評議員や指導主事等を年間2回程度招聘し、状況の確認及び評価をいただく